

入学試験要項

2024年度帰国生徒入学試験（9月入学）



四天王寺大学
四天王寺大学短期大学部

目 次

建学の精神（本学の使命）	1
学園訓	2
教育研究の目的	2
1 募集学部・学科（専攻・コース）および入学定員	3
2 募集人員	3
3 大学「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）	4
4 短期大学部「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）	7
5 試験日程・出願等について	8
6 多様な受験生、不慮の事故等による負傷者・疾病者等への対応について	10
7 受験票について	10
8 受験するにあたって	10
9 個人情報の取り扱いについて	11
10 入学手続	11
11 学費等	11
12 実験・実習費等	11
13 国際コミュニケーション学科の海外体験実践演習（海外研修）の費用について	12
14 経営学科 公共経営専攻のIBU 公務員プログラムの費用について	12
15 帰国生徒入学試験（2024年9月入学）入学志願票記入例	13
16 交通手段について	14

建学の精神（本学の使命）

「きえ かつごう 帰依渴仰 だんなくしゅぜん 断悪修善 そくしょうむじょうだいぼだいしよ 速証無上大菩提処」

本学は、学校法人四天王寺学園が設置している大学院、大学および短期大学です。

学校法人四天王寺学園は、教育関係諸法に従い、聖徳太子の仏教精神に則って教育を行うことを建学の精神とする学園であります。

聖徳太子は、推古元年（西暦 593 年）に四天王寺を創建し、きょうでんいん 敬田院とされました。その設立の精神は「きえかつごう 帰依渴仰 だんなくしゅぜん 断悪修善 そくしょうむじょうだいぼだいしよ 速証無上大菩提処」であり、それは、全ての生きとし生けるものが、仏教に帰依し、深く信じ、悪を断ち、善を修め、速やかに仏の悟りを得て、その境地に達することのできる場所を意味します。また、敬田院と同時に、国家の基礎であり、仏教の重要な教えである慈悲行の実践の場所として、せやくいん 施薬院・りょうびょういん 療病院・ひでんいん 悲田院を設立して四箇院とされました。敬田院で研鑽を積んだ人材が、他の三院の運営に関わり、平和で人々が幸せに暮らせる国づくりに尽力しました。その敬田院の精神を建学の精神として、大正 11 年（西暦 1922 年）に聖徳太子 1300 年御忌記念を機として、学校法人 四天王寺学園は創立されました。

創立以後、聖徳太子のご偉業の中から、三経義疏（勝鬘経義疏・維摩経義疏・法華経義疏）を撰述されたことを受け、特に勝鬘夫人・維摩居士を範とした教育を打ち出し、また聖徳太子が制定された十七条憲法に準拠して学園訓を制定しました。十七条憲法の第一条「和を以て貴しとなす」に象徴される「和の精神」により、道德観・倫理観を涵養し、勉学・スポーツ等において自己を徹底して磨く教育を実践してきました。社会には時代ごとに国内外を問わずあらゆる課題が存在しますが、その課題解決のために、利他の心を起こし、磨き上げた自己の知識・技能をもって、人々に寄り添える人材を育成することが本学園の使命であります。

先にのべた敬田院設立の精神は、教育的には次のように理解できます。

「他者や物事の内に潜む善さを信じ、その実現を心より願うところに、自己の善さの実現も可能となります（帰依渴仰）。そのためには人々や物事の善悪を深く思慮し、相互に省みることによって悪を断つとともに、善の実践に努めなければなりません（断悪修善）。そうすることで、速やかにそれぞれの善さを実現することが可能となります（速証無上）。他者にとっての善さは私にとっての善さでもあり、社会への貢献とはそうした相互の善さを具現化する営みに他なりません。そのための思慮と省察を積み重ねることによって、私たちは他者と共に己の計らいを超えた生命のもとで、生きる意味を覚ることができるのです（大菩提處）。」

善さとは、あらゆるものの内に潜んでいるそのものらしさ、本来の姿、真実のあり方のことを指します。「しよあくまくさ 諸悪莫作、しよぜんぶぎよう 諸善奉行」とは太子が、生涯大事にされた經典の一句であります。その意味は、自分の感情や欲望への執着に囚われた自我に気づき、それを超えて本来の自己の善さを実現しようとする行為は、他者や物事の本来の善さの実現を願い、他者と関わろうとする行為と一体のものであるということを表しています。太子は、現実社会を「せけんこけ 世間虚仮」と見て、これを超えた仏の無我の世界を「ゆいぶつぜん 唯仏是真」とし、それに向かって人々が共に手を携え、真実に生きる道を示されたのです。

学 園 訓

- 一、和を以て貴しとなす
- 一、四恩に報いよ
四恩とは
 国の恩
 父母の恩
 世間の恩
 仏の恩なり
- 一、誠実を旨とせよ
- 一、礼儀を正しくせよ
- 一、健康を重んぜよ

教育研究の目的

四天王寺大学

本学は、聖徳太子が四天王寺を創建された精神に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り、深く専門の学術を研究教授し、現代社会において必要とされる知識を広く授け、もって仏教精神を修得して人々の幸福のために献身し、豊かな教養とすぐれた知見をもち、我国はもとより国際社会に貢献しうる有為の人材を育成することを目的とします。

四天王寺大学短期大学部

本学は、聖徳太子が四天王寺を創建された精神に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り、深く専門の学術を研究教授し、職業または実際生活において必要とされる能力を授け、もって仏教精神を修得して人々の幸福のために献身し、豊かな教養とすぐれた知見をもち、我国はもとより国際社会に貢献しうる有為の人材を育成することを目的とします。

1 募集学部・学科（専攻・コース）および入学定員

大学

学部	学科（専攻・コース）	入学定員	
文学部	日 本 学 科	100名	
	国際コミュニケーション学科	90名	
社会学部	社 会 学 科	160名	
	人 間 福 祉 学 科	70名	
教育学部	教 育 学 科	学 校 教 育 コ ー ス	200名
		幼 児 教 育 保 育 コ ー ス	60名
経営学部	経 営 学 科	公 共 経 営 専 攻	40名
		企 業 経 営 専 攻	120名

短期大学部

学 科	入学定員
保 育 科	120名
ライフデザイン学科	100名

2 募集人員

大学

学部	学科（専攻・コース）	募集人員	
文学部	日 本 学 科	若 干 名	
	国際コミュニケーション学科		
社会学部	社 会 学 科		
	人 間 福 祉 学 科		
教育学部	教 育 学 科		学 校 教 育 コ ー ス
			幼 児 教 育 保 育 コ ー ス
経営学部	経 営 学 科		公 共 経 営 専 攻
			企 業 経 営 専 攻

短期大学部

学 科	募集人員
保 育 科	若 干 名
ライフデザイン学科	

3 大学 「入学者受入れの方針」 (アドミッション・ポリシー)

本学では、すべての入学者選抜においてアドミッションポリシーに記載したような人物を求めています。卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成・実施の方針を踏まえ、求める能力やその評価方法を学力の3要素等と関連付けて明示し、多面的・総合的に評価します。具体的には、次のような人物を求めています。

- (1) 豊かな人間性(慈愛の心・利他の精神)を身につけ、本学で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つことができること〔求める要素：関心・意欲・態度〕
- (2) 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎学力を有し、思考を深めて他者に表現できること〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力、表現力〕
- (3) 多様な文化・価値観を理解し、自ら課題に対して仲間とともに積極的に取り組み、自己研鑽に努めることができること〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

募集学部・学科(コース)	アドミッション・ポリシー	求める要素
文学部	文学部は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受ける条件として、以下のような資質・能力をもつ人物を受け入れることを方針とし、試験や審査を行います。	
	(1)人文科学の専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。	知識・技能
	(2)ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できること。	思考力・判断力、表現力等
	(3)言語・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、課題を発見し解決する意欲を有すること。	関心・意欲・態度
	(4)主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、他者と協働できること。	主体性・多様性・協働性
	日本学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1)日本の言語・文化についての専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。	知識・技能
	(2)ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できること。	思考力・判断力・表現力等
	(3)日本の言語・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、課題を発見し解決する意欲を有すること。	関心・意欲・態度
	(4)主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、他者と協働できること。	主体性・多様性・協働性
	国際コミュニケーション学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1)英語を通して国際文化についての専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。	知識・技能
	(2)ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できる。	思考力・判断力・表現力等
	(3)言語・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、海外体験や国際交流活動を通して課題を発見し解決する意欲を有すること。	関心・意欲・態度
	(4)主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、相手の立場や価値観を慮った思いやりの心であるホスピタリティ精神を持ちながら他者と協働できること。	主体性・多様性・協働性
	社会学部	社会学部は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受ける条件として、以下のような資質・能力をもつ人物を受け入れることを方針とし、試験や審査を行います。
(1)社会科学の諸領域の専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。		知識・技能
(2)人間・社会(世界)・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、専門的な知識・技能を身につけ、課題を発見し解決する意欲を有すること。		関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力
(3)他者や社会との関係において、自ら主体的に思考し実践するとともに、異なる価値をもつ他者や異文化を理解し、他者と協働してものごとに取り組む姿勢をもつこと。		主体性・多様性・協働性

募集学部・ 学科(コース)	アドミッション・ポリシー	求める要素	
社会科学部	社会科学は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	(1)人間や社会、地域やメディア、心理、歴史に関するさまざまなテーマについて深い興味関心があること	関心・意欲・態度
		(2)あたり前のものの見方を疑い、さまざまな角度からものごとをとらえようとする	思考力・判断力、表現力
		(3)社会科学の学びに必要な読解力や論理的思考力、表現力を有すること	知識・技能、 思考力・判断力、表現力
		(4)個人や社会に関するさまざまな課題に対して、他者と協働しながら積極的に取り組んでいく意欲があること	主体性・多様性・協働性
		人間福祉学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	(1)他人の話に耳を傾けることができること。
(2)少子高齢化など社会的問題に関心を持っていること。	(3)相談援助の知識や技術を高めようとする目標を持っていること。	知識・技能、思考力	
人間福祉学科	(4)違う価値観の人と協働して、物事に取り組むことができること。	主体性・多様性・協働性、 思考力・判断力、表現力	
	(5)ボランティアなどの活動に関わり実践から学ぼうとする意欲があること。	主体性・多様性・協働性	
	教育学部は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	(1)教育・保育に対する強い情熱をもって専門的に学びながら、子どもの多様なニーズへの共感的理解をもとに、一人一人に応じた支援やケアを重視して教育・保育に取り組む熱意溢れる人	関心・意欲・態度
教育学部	教育学科学校教育コースは、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	(2)本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で習得すべき基礎学力を有し、教育・保育についての学びや実践を、子どもの発達を総合的に見通して取り組むことができるように、広い視野から現代の教育課題を捉え、教育・保育活動にいかしていこうと努める人	知識・技能、 思考力・判断力、表現力
		(3)他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようと努める人	主体性・多様性・協働性
		(1)教育に対する強い情熱を持って専門的に学びながら、子どもの多様なニーズへの共感的理解をもとに、一人一人に応じた支援やケアを重視して教育に取り組む熱意溢れる人	関心・意欲・態度
		(2)本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎学力を有し、教育についての学びや実践を、子どもの発達を総合的に見通して取り組むことが出来るように、広い視野から現代の教育課題を捉え、教育活動にいかしていこうと努める人	知識・技能、 思考力・判断力、表現力
教育学科 学校教育コース	教育学科幼児教育保育コースは、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	(3)他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようと努める人	主体性・多様性・協働性
		(1)強い意志と情熱を持って専門的に学びながら「めざす保育者像とは」、と問い続けていく人。また、子どもを一人の人間として尊重し、一人一人の子どもの「心もち」に寄り添い、発達課題に応じた支援やケアを考えようと努める人。	関心・意欲・態度
		(2)本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で習得すべき基礎学力を有し、教育・保育についての学びや実践を、子どもの育ちや子どもが育つ家庭環境や地域社会の状況を考え、広い視野から現代の教育・保育課題を捉え、教育保育活動に活かしていこうと努める人。	知識・技能、 思考力・判断力、表現力
教育学科 幼児教育保育コース	教育学科幼児教育保育コースは、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	(3)他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようと努める人。	主体性・多様性・協働性

募集学部・ 学科(コース)	アドミッション・ポリシー	求める要素
	経営学部では、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1)高等学校等の教育課程を幅広く修得しており、大学での学修に必要な基礎知識・学力・技能を有していること。	知識・技能
	(2)経済・経営や社会・生活に関する諸問題に関心を持ち、将来、専門知識や経験を活かして、企業人や公務員としてさまざまな分野で活躍し、社会に貢献しようとする高い就業意欲や使命感があること。	関心・意欲・態度
	(3)学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を主体的、かつ他者と協働して幅広く取り組んだ経験があり、そこでの自らの役割と成果を説明できること。	主体性・多様性・協働性
	(4)高等学校までのグループ活動等の学びを通じて、社会的課題に関心を持ち、さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考え、自己の意見を表現できること。	思考力・判断力・表現力
経営学部	経営学科公共経営専攻は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1)高等学校等の教育課程を幅広く修得しており、大学での学修に必要な基礎知識・学力・技能を有していること。	知識・技能
	(2)経済・経営や社会・生活に関する諸問題に関心を持ち、将来、専門知識や経験を活かして、公務員としてさまざまな分野で活躍し、社会に奉仕しようとする高い就業意欲や使命感があること。	関心・意欲・態度
	(3)学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を主体的に、かつ他者と協働して幅広く取り組んだ経験があり、そこでの自らの役割と成果を説明できること。	主体性・多様性・協働性
	(4)高等学校までのグループ活動等の学びを通じて、社会的課題に関心を持ち、さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考え、自己の意見を表現できること。	思考力・判断力・表現力
経営学部	経営学科企業経営専攻は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1)高等学校等の教育課程を幅広く修得しており、大学での学修に必要な基礎知識・学力・技能を有していること。	知識・技能
	(2)経営・経済や社会・生活に関する諸問題に関心を持ち、企業・団体等への高い就業意欲や起業・事業継承に向けての意欲があり、そのために資格取得や国内外で実施するインターンシップにも積極的かつ誠実に取り組む気持ちがあること。	関心・意欲・態度
	(3)学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を主体的に、かつ他者と協働して幅広く取り組んだ経験があり、そこでの自らの役割と成果を説明できること。	主体性・多様性・協働性
	(4)高等学校までのグループ活動等の学びを通じて、社会的課題に関心を持ち、さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考え、自己の意見を表現できること。	思考力・判断力・表現力

4 短期大学部 「入学者受入れの方針」 (アドミッション・ポリシー)

本学では、すべての入学者選抜においてアドミッション・ポリシーに記載したような人物を求めています。卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成・実施の方針を踏まえ、求める能力やその評価方法を学力の3要素等と関連付けて明示し、多面的・総合的に評価します。具体的には、次のような人物を求めています。

- (1) 豊かな人間性 (慈愛の心・利他の精神) を身につけ、本学で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つことができること〔求める要素：関心・意欲・態度〕
- (2) 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎学力を有し、思考を深めて他者に表現できること〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力、表現力〕
- (3) 多様な文化・価値観を理解し、自ら課題に対して仲間とともに積極的に取り組み、自己研鑽に努めることができること〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

募集学科	アドミッション・ポリシー	求める要素		
短期大学部	保育科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	関心・意欲・態度、 表現力、 主体性・多様性・協働性		
			(1) 保育や子どもに対する学びへの興味・関心が高く、慈愛に満ち、将来、保育者(幼稚園教諭・保育士・保育教諭)となる意志が明確なこと。	
			(2) 将来、保育現場で、子どもの援助だけではなく、子育て支援等における保護者への支援の基礎となるコミュニケーション能力や自己表現力を、仲間と協調して高めようとする姿勢のあること。	
			(3) 保育現場で要求される保育技術、特にピアノ演奏についての能力の獲得意欲のあること。	
			(4) 高校生活全般を通して自分の知的好奇心を育てながら、高等学校で学ぶ基礎学力(特に国語)および音楽に対する基本的な知識を身につけていること。	
	ライフデザイン学科	ライフデザイン学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	思考力・判断力、表現力	
				(1) 豊かな教養と専門性を備え、将来グローバルに活躍できるビジネスパーソンになることをめざすこと
				(2) 自らのライフプランとキャリアプランを描くため、自分の将来像や仕事のイメージ創り、適職探しに興味を持つこと
				(3) 仕事に必要なビジネス関連知識を修得し、各種資格取得をめざすこと
(4) コミュニケーション能力を高め、物事に積極的にチャレンジする熱意のあること				
(5) 高等学校等で学ぶ、基礎的な国語力と情報処理能力を身につけていること	知識・技能			

5 試験日程・出願等について

1 試験日程・試験科目等一覧

	出願期間	試験日	試験地	試験時間・科目・配点			出願書類	合格発表	入学手続き期間
				9:30~10:30	11:00~12:00	13:20~			
2024年9月入学	2024年 7月29日(月) } 8月1日(木) 締切日消印有効	2024年 8月17日(土) (集合 9:10)	本学	日本語 (100点)	英語 (100点)	面接試験 (100点)	1	2024年 8月22日(木)	入学金・授業料等 2024年 8月22日(木) } 8月28日(水)

2 出願資格

日本国籍を有する者および日本に永住する外国人で、下記に該当する者

- (1)外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または、外国の学校において最終学年を含み継続して2年以上在学し、かつ卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者
- (2)海外での学校教育の最終在籍日から、本学の入学試験日までの期間が1年半以内の者
- (3)大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有すると本学が認めた者
- (4)本学の入学時点で満18歳に達する者
- (5)外国に設置された学校で、日本の学校教育法に準拠した学校に在学した者
- (6)その他、本学が上記(1)と同等以上の資格を有すると認めた者

3 出願方法

入学検定料を金融機関で振込み、出願書類を出願期間中に**簡易書留速達【締切日消印有効】**で郵送してください。

4 出願先

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1 TEL.072-956-3183（直通）
四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部 入試・広報課

5 出願書類について

(1)入学志願票：本学所定の様式を使用

入学志願票は、四天王寺大学受験生サイト（以下、受験生サイトとする）からダウンロードしたものを印刷し（A4サイズに限る）、「入学志願票記入例」（P.13）を参照のうえ、それぞれの項目に必要な事項を記入してください。入学志願票には、出願前3か月以内に撮影した、脱帽上半身正面、背景無し、縦4cm・横3cmの写真を1枚（カラー写真に限る）貼付してください。試験当日に眼鏡をかけて受験する者は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。なお、写真がはがれる場合がありますので、写真の裏面に志望学部・学科（専攻・コース）と氏名を記入してください。

(2)同意書「基礎教育科目の履修および授戒会への参加について」：本学所定の様式を使用

四天王寺大学では、「建学の精神」としての「和の精神」を持ち、実社会で活躍できる人間形成をめざした教育をおこなっています。学生みなさんに、人間教育として「和の精神」について学び、身につけてもらう大切な機会として、1年次に基礎教育科目（和の精神など仏教関連科目）の必修科目（*）の履修や授戒会（他者に思いやりをもって、誠実な生き方をするという宣誓式）への出席をもとめています。

（*）必修科目…卒業までに必ず履修しなければならない科目

この科目の出席や授戒会への参加には、スーツ着用基準に定められたスーツの着用が必要です（受験生サイト参照）同意書「基礎教育科目の履修および授戒会への参加」のすべてに同意していただける場合のみ、受験生サイトからダウンロードした同意書「基礎教育科目の履修および授戒会への参加」を印刷し（A4サイズに限る）、署名・捺印してください。**すべてに同意いただけない場合は、出願していただくことができませんのでご了承ください。**

(3)帰国生徒入学願書（2枚）：本学所定の様式を使用

帰国生徒入学願書は、受験生サイトからダウンロードしたものを印刷し（A4サイズに限る）、それぞれの項目に必要な事項を記入してください。

(4)帰国生徒入学志望理由書（2枚）：本学所定の様式を使用

「1. 本学を志望した理由」および「2. 志望する学部・学科（専攻・コース）を選んだ理由」について、それぞれ400～500字で記入してください。入学志望理由書は、受験生サイトからダウンロードしたものを印刷し（A4サイズに限る）、必要事項を記入してください。

(5)最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書

最終出身学校長が作成したもの。

(6)出身高等学校（海外および国内）の在学全期間の成績証明書

在籍した全高等学校の成績証明書。

(7)最終出身学校長または担当教員（海外）の推薦書

(8)国際バカロレア資格の取得者：IB ディプロマとIB 最終試験成績証明書（日本語訳を添付）

国家試験等の統一試験（SAT、GCE など）を受験している者は、その証明書。

(9)海外在留証明書またはパスポートのコピー（本人に関する記載事項および出入国の記録）

6 入学検定料：35,000円

出願期間内に下記振込先に入学検定料を振り込んでください。

振込先：三菱 UFJ 銀行 藤井寺支店
普通 口座番号 432000

受取人：アイビィユー シテンノウジダイガク

なお振込人名は、受験者の氏名を入力してください。

7 出願上の注意

- (1)出願書類の処理には日数を要する場合がありますので、入学検定料の振込み、出願書類の準備・郵送等は早めに行ってください。
- (2)いったん納入された入学検定料および受理した出願書類は、いかなる場合も返還しません。
- (3)入学検定料未納の場合、また出願書類に不備があった場合は、出願を受け付けません。
- (4)外国で発行される書類については、**英語**か**日本語**に限ります。
- (5)出願後の志望学部・学科（専攻・コース）の変更は、認めません。

8 合格発表

- (1)**合否通知書は受験者全員**に送付します（欠席者には通知しません）。
- (2)学内での掲示は行いません。
- (3)電話による合否の問い合わせには一切応じません。

6 多様な受験生、不慮の事故等による負傷者・疾病者等への対応について

- 1 受験時や入学後の修学等において特別な配慮を必要とされる場合は、必ず出願開始の1カ月前までに申請書類等の提出が必要となりますので、早めに入試・広報課にご相談ください。本学としては、個別配慮や施設面等の改善に努力しておりますが、ご相談の内容によっては受験時及び入学後の修学上の対応ができず、特別の措置を講じることができない場合がありますのでご了承ください。
なお、入学後の修学等において特別な配慮を必要とされる方は、実習実施の関係等で資格取得や卒業に支障が生ずる場合がありますので、必ず事前にご相談ください。
※上記の申し出が無い場合や、申し出期限以降に相談があった場合などは、可能な受験上の配慮や入学後の修学の配慮ができない場合がありますので、必ず事前にご相談ください。
- 2 出願後の不慮の事故による負傷や疾病により、受験時に特別な配慮を必要とされる場合は、早めに入試・広報課まで申し出てください。また、それらの事由により受験できなかった方への追試験は行っておりません。

7 受験票について

- 1 受験票は、出願された入学志願票をもとに本学が作成し、入学志願票の**住所宛に郵便で送付**します。
- 2 送付された受験票の氏名、志望学部・学科（専攻・コース）等の記載事項を確認してください。間違いがある場合は、入試・広報課までご連絡ください。なお、その他記載事項の変更は一切認めません。
- 3 受験票が試験日の2日前までに到着しない場合は、出願した学部・学科（専攻・コース）、出願書類の差出日、差出局名、書留番号を明らかにし、入試・広報課までお問い合わせください。

問い合わせ先 四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部 入試・広報課 TEL.072-956-3183 (直通)

8 受験するにあたって

- 1 **受験票、筆記用具**は、試験当日必ず持参してください。紛失、忘れた場合は、入試係まで申し出てください。
- 2 受験生は、集合時間までに指示された試験場に集合してください。また、交通機関の遅れや混雑も考えられますので、時間に余裕をもって集合してください。
- 3 試験場では指定された席につき、監督者の指示に従ってください。
- 4 **筆記試験では、HBの黒鉛筆（5本以上）またはシャープペンシルと消しゴムを必ず持参してください（鉛筆削りを持参することが望ましい）。**
- 5 和歌、格言や英語の文章が印刷されている鉛筆等は、使用することができません。
- 6 机の上に置くことができるものは、受験票と鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計です。それ以外の物は机の上に置くことができません。また、下敷等の使用は認めません。
- 7 **試験場内では、携帯電話の使用を禁止します。**試験場に入る前に必ず電源を切ってください。また、時計として使用することも認めません。また、通信機能や録音機能付きの腕時計型端末などの電子機器類の使用は禁止します。
- 8 不正行為を行った場合は退場を命じ、全科目を無効とします。
- 9 試験を開始後、20分以上の遅刻者は受験できません。
- 10 試験開始の合図があるまでは、配付された用紙に手を触れないでください。
- 11 解答用紙には必ず受験番号、氏名を記入してください。
- 12 試験を開始して30分経過すれば試験場より退室することができます。ただし、試験終了の10分前までとします。
- 13 試験終了の合図があれば直ちに解答をやめて、着席したまま監督者の指示に従ってください。
- 14 試験場でのコートなどの着用は認めます。
- 15 試験会場の下見は教室に入ることはできません。場所の確認だけになります。
- 16 本学には駐車場がありますが、交通渋滞等で試験に遅刻する場合がありますので、車での来学は見合わせてください。また、入学試験当日、スクールバスは運行しておりません。**公共の交通機関を利用**してください。

17 入学試験当日、本学最寄駅および試験会場周辺で下宿資料やマンションのパンフレットを配布する者がいても、本学とは一切関係がありませんので、十分注意してください。

9 個人情報の取り扱いについて

願書および入学手続きに際して、志願者から本学に提供された個人情報については、志願者への連絡、受験票の発送、合否通知、入学手続き者への各種案内の発送、個人が特定されない入試・入学に関する各種統計資料の作成、入学後の学内個人データ作成およびこれらに付随する事項を行う為に利用します。

上記の業務の一部を業者に委託する場合、委託業者等に対し漏洩や目的以外の利用を行わないように機密保持契約を義務付け、厳重な管理を行うよう指導します。

10 入学手続

- 1 入学金・授業料等の納入は、入学手続期間内に行ってください。入学手続期間を過ぎるといかなる理由があっても受け付けません。
- 2 入学手続時の提出書類の詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。

11 学費等

		文学部・社会学部・教育学部・経営学部・短期大学部	
		入学手続時納付金	2025年度夏学期納付金
学 納 金	入 学 金	300,000 円	—
	授 業 料	418,500 円	418,500 円
	運 営 維 持 費	80,000 円	80,000 円
	施 設 拡 充 費	80,000 円	80,000 円
同 窓 会 費（委託徴収）		10,000 円	—
後 援 会 費（委託徴収）		9,000 円	9,000 円
合 計		897,500 円	587,500 円

- 1 入学金・同窓会費は入学時のみ必要です。
- 2 授業料・運営維持費・施設拡充費・後援会費は、入学手続時と冬学期に分けて納入してください。
- 3 次年度以降の納付金の額は、社会情勢の変動により変更する場合があります。
- 4 入学を辞退される場合は、入学金を除く全ての納付金を返還します。
 - ・入学辞退届を送付してください。ただし2024年9月12日（木）17:00まで必着とします。それ以降の提出は受け付けません。
 - ・入学辞退届を本学で受理後、所定の手続きを経て本学が指定した期日に入学金を除くすべての納付金を返還します。

12 実験・実習費等

- 1 大学、短期大学部の学部・学科（専攻・コース）において該当する実験・実習費・学外実習費等については、入学後定められた期日までに納入してください。
- 2 納入された実験・実習費・学外実習費等は、いかなる理由があっても返還しません。
- 3 実習費については、運営維持費に含まれるものとします。但し、実習に付随する自己負担部分（交通費・その他）は、別途その実費を徴収する場合があります。

13 国際コミュニケーション学科の海外体験実践演習（海外研修）の費用について

国際コミュニケーション学科では、異文化体験を通して、これからの国際社会に的確に対応する力を身につけていくことを目的とし、海外研修「海外体験実践演習」を実施します。渡航先はインドネシア、フィリピン、ベトナムを予定しています。参加費のうち、現地授業料及び滞在費（宿泊費）は大学側が負担し、免除となります（予定）。現地授業料及び滞在費の費用以外（航空券、保険、現地移動費、税金、手数料等）は参加者の方のご負担となります。

費用の支払いにつきましては、プログラムへの参加前に委託先旅行会社または各機関へお振り込みいただくこととなります。また、食費等の一部現地でお支払いいただく費用があります。

「海外体験実践演習」の詳細につきましては、入学後のオリエンテーション時に説明いたします。

14 経営学科 公共経営専攻の IBU 公務員プログラムの費用について

経営学科 公共経営専攻では、入学から4年間のIBU公務員プログラムを通して国家一般職、地方上級、国税専門官等の難関公務員試験の合格をめざします。公共経営専攻の学生は、当プログラムの参加が必須となりますので、1年次からの公務員講座を全員が受講する必要があります。


そのため講座料及び教材費を入学後定められた期日までに納入していただくこととなります。公務員講座に関する詳細につきましては、教務課より4月上旬に別途ご案内します。

[参考：IBU 公務員プログラム講座料等実績] ※2年次は必要ありません（授業内に科目設置）。

	1 年 次	3 年 次
講 座 料	40,000 円	100,000 円
教 材 費	5,000 円	20,000 円
合 計	45,000 円	120,000 円

15 帰国生徒入学試験(2024年9月入学)入学志願票記入例

数字が1桁の場合は、前に0を入れてください。



四天王寺大学
四天王寺大学短期大学部

2024年度 帰国生徒入学試験 9月入学

入学志願票

※

試験コード

81

フリガナ	シテンノウジ カズコ	性別	1 男 2 女	2
志願者氏名	姓 四天王寺 名 和子	生年月日	2005年04月08日	
出身学校	カリフォルニア州立 アメリカンハイスクール	卒業年次	2. 2024年卒業(卒業見込) 3. 2023年卒業 4. 2022年卒業	設置
高校コード	52000E	1. 国立 2. 都道府県立 3. 市町村立 4. 私立 9. その他	2	9
保護者氏名	姓 四天王寺 名 一郎	電話番号	(072) 956 - 3181	
住所	郵便番号 583 - 8501	都道府県	大阪	市市区
	町村番地	都道府県	大阪	市市区
	学園前3丁目2-1		羽曳野	区
				マンション・アパート名及び棟・室番号等

試験日	志望学部・学科(専攻・コース)	試験科目	試験会場
8/17 (土)	<input checked="" type="checkbox"/> 文学部 日本文学科	日本語 英語 面接試験	01 本学
	<input type="checkbox"/> 文学部 国際コミュニケーション学科		
	<input type="checkbox"/> 社会学部 社会学科		
	<input type="checkbox"/> 社会学部 人間福祉学科		
	<input type="checkbox"/> 教育学部 教育学科 学校教育コース		
	<input type="checkbox"/> 教育学部 教育学科 幼児教育保育コース		
	<input type="checkbox"/> 経営学部 経営学科 公共経営専攻		
	<input type="checkbox"/> 経営学部 経営学科 企業経営専攻		
	<input type="checkbox"/> 保育科		
	<input type="checkbox"/> ライフデザイン学科		

志望する学部・学科(専攻・コース)の四角(□)にチェックしてください。

写真欄

1 最近3ヶ月以内に撮影したカラー写真に限りです。
2 脱帽上半身正面
3 寸法4cm×3cm
4 写真裏面に志望学部・学科(専攻・コース)、氏名を記入してください。

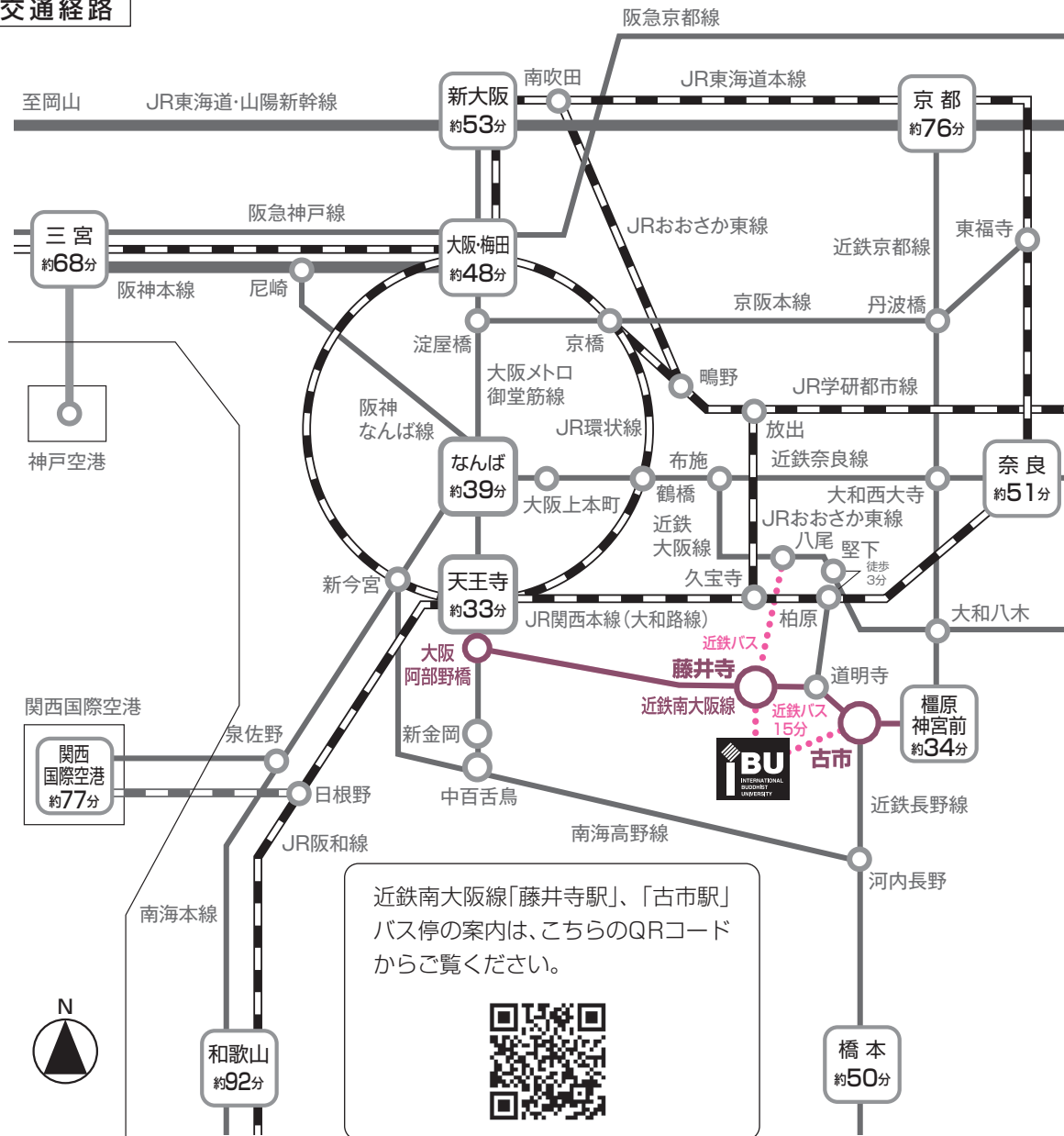
入学志願票記入上の注意

- (1) 上記の記入例を参照し、自筆で正確に記入してください。記入にあたっては、黒色のボールペン(消えるボールペン不可)を使用してください。
- (2) ※印欄は記入しないでください。
- (3) 故意に虚偽の記入をした場合は、受験を認めないことがあります。
- (4) 出願書類の提出後は記入内容の変更を認めません。出願前に必ず記入内容を確認してください。

16 交通手段について

本学へは、近鉄南大阪線大阪阿部野橋駅より準急に乗車し、藤井寺駅で下車。または、橿原神宮前駅・河内長野駅方面からは古市駅で下車。いずれの駅からも、近鉄バス四天王寺大学行に乗車し、終点で下車してください（大阪阿部野橋駅へは、JR天王寺駅・大阪メトロ天王寺駅より徒歩約5分です）。

交通経路



■鉄道利用

新幹線利用および京都・神戸方面から
 新大阪駅又は大阪(梅田)駅を經由し、JR大阪環状線又は大阪メトロ 御堂筋線を利用して天王寺(大阪阿部野橋)駅へ。

■航空機利用

関西国際空港からJR線で天王寺(大阪阿部野橋)駅下車。
 大阪空港から空港バスであべの橋バス停下車。

※入学試験当日、スクールバスは運行していません。

IBU 四天王寺大学
 INTERNATIONAL BUDDHIST UNIVERSITY
 四天王寺大学短期大学部

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
 TEL.072-956-3181(代)

ホームページへのアクセスは、<https://www.shitennoji.ac.jp>